



9月号 令和5年8月31日発行

荇田小だより

横浜市都筑区荇田南町694番地 [Tel.911-0149]
[http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]



「ひと・もの・こと」のつながりの大切さ ～在校生や卒業生、地域にとっての母校でありたい～

校長 伊藤 智樹

新型コロナウイルス感染症が5類に変更されてから迎える初めての夏休みとなりました。それに伴いこの夏は、多くのイベントが復活した夏休みでした。荇田小の学区内の連合町内会主催の夏祭りには、地域の皆様がたくさん集まり、本校の子どもたちも久々の夏祭りを満喫している姿を見ることができました。また、夏休み最後の土曜日には本校校庭でPTAと創立50周年記念事業実行委員会の共催による荇田小夏祭りが盛大に開催されました。夏の素敵な思い出として子どもたちの心に残ったことだと思います。

荇田小夏祭りには、卒業生も大勢来てくれました。「校長先生、覚えていますか?」「〇〇先生は来ていますか?」と声をかけてくれました。卒業生が旧担任等を囲みながら教師も卒業生も笑顔で話していました。私が荇田小でかかわっている卒業生は現中学1年生～高校1年生です。6年生時の面影を残しながらも成長している姿、旧担任等と談笑している様子を見て、母校の意味をあらためて実感することができました。



【父親の会 射的】

また、手持ち花火の時間帯には、子どもたちはもちろん保護者、そして卒業生がワイワイしながら笑顔で手持ち花火をしている姿を見て私も幸せな気持ちになってきました。教師をやってよかったなあと思える瞬間でもありました。



【打ち上げ花火】

この夏祭りの取組は昨年度から始まりましたが、今年は創立50周年の節目でもあり、昨年度よりバージョンアップさせた内容でした。PTA 完全任意加入制移行に伴い、お祭り実施にあたっては「楽しみながらできることをしていこう」という方針のもと企画・運営を行っていました。PTA 会長と50周年記念事業実行委員長を中心にPTA 本部役員、委員の皆様、保護者ボランティア、OBも含めた父親の会の皆様、自治会や消防団、交通安全協会等多くの方のご支援ご協力があった開催することができました。新しい試みとして飲食店のキッチンカーを導入することによりPTAの負担軽減につなげるなど「持続可能なPTA活動」も念頭に置いたものでした。打ち上げ花火・ナイアガラには、地域の方々もたくさん集まり、本校の子どもたちもお家の方と一緒に花火鑑賞に来ていました。PTA 会長のもとには地域の方から開催への労いとお礼の言葉が多数寄せられていました。



【校庭での手持ち花火】

「ひと・もの・こと」それぞれが繋がっている社会、それが人間社会であると思います。学校は「ひと・もの・こと」のつながりを大切にしながら子どもたちを育てていく学舎だと考えています。今回開催された夏祭りは、夏祭りということ(事象)の中で花火や校内探検等の様々な出し物というものを通して、ひと(人)が集まり、関わり合いが生まれることで相互の理解を深めよりよい社会を創っていくことにつながると思います。

11月18日には50周年記念式典・祝賀会を開催する予定です。「ひと・もの・こと」のつながりを大切に、在校生や卒業生、地域にとっての母校を目指して教育活動に努めて参りたいと思います。子どもたちの成長に向けて教職員一同力を合わせていきたいと思ひます。

11月18日には50周年記念式典・祝賀会を開催する予定です。「ひと・もの・こと」のつながりを大切に、在校生や卒業生、地域にとっての母校を目指して教育活動に努めて参りたいと思ひます。子どもたちの成長に向けて教職員一同力を合わせていきたいと思ひます。